

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

内容報告書

団体名：NPO多文化共生プロジェクト

1. 事業の概要

事業名称	福岡市で活動する日本語ボランティア講師のためのエンパワーメント事業
事業の目的	福岡市で活動する日本語ボランティア講師のエンパワーメントを行う。具体的には、カリキュラム案を活用し(1)日常場面の課題に基づいた教室を設置し公開(2)課題解決能力を育成する研修を実施(3)カリキュラム案の教案集を作成する。この(1)から(3)を通して「生活者としての外国人」が参加したくなる日本語ボランティア教室づくりに寄与することが事業の目的である。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	福岡市は在住外国人が増え初期指導が必要な外国人が増えているが、日本語ボランティア教室に参加する外国人の人数は減少している。福岡市及びその近郊の約50の日本語ボランティア教室では交流か文型の学習を主体とした教室活動のどちらかが行われ、生活する外国人が抱えた日常の課題を解決するための教室は少なく、外国人のニーズに合っていないことが指摘されている。
事業内容の概要	(1)日本語教育の実施 福岡市内の外国人集住地区においてカリキュラム案を活用した教室活動を行う教室を設置する。その全ての教室活動は、日本語ボランティア講師に公開される。また希望者は日本語教育の専門家と教室活動を共に考え実践できる。 (2)日本語教育を行う人材の研修 社会課題の解決をめざすボランティア活動が行えるような研修を行う。交流か文型の学習が教室活動の中心である現状において、外国人参加者の日常場面の課題解決をめざす教室活動のデザインをテーマにする。 (3)日本語教育のための教材作成 上記(1)で実際に使用された教材を基に日常場面の課題に基づいたカリキュラム案の教案集を作成する。
事業の実施期間	平成28年5月～平成29年3月（11か月間）

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	松永典子	九州大学
2	古川美穂子	かすが・にほんご広場
3	青木ふみか	エフエイチ日本語教室
4	妹川幸代	NPO多文化共生プロジェクト
5	深江新太郎	NPO多文化共生プロジェクト
6		
7		
8		
9		
10		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年7月13日 (水) 10:00～12:00	2時間	愛和外語学院	松永典子, 古川美穂子 青木ふみか, 妹川幸代 深江新太郎	1. 本年度 事業全体の検討 2. 地域日本語教育の現状の共有
2	平成28年10月26日 (水) 11:00～13:00	2時間	愛和外語学院	松永典子, 古川美穂子 青木ふみか, 妹川幸代 深江新太郎	1. 日本語教室設置の報告 2. 地域日本語教育の課題の検討
3	平成29年2月1日(水) 11:00～13:00	2時間	愛和外語学院	松永典子, 古川美穂子 青木ふみか, 妹川幸代 深江新太郎	1. 人材育成研修の報告 2. 次年度の取組について検討
4	平成29年3月15日 (水) 10:00～12:00	2時間	愛和外語学院	松永典子, 古川美穂子, 妹川幸代, 深江新太郎	1. 本年度事業の評価 2. 次年度事業の展望

(2) 事業の実施体制

- (1) 運営委員会 中核メンバーの深江が議長を行い、地域日本語教育コーディネーター2名が参画する
(2) 日本語教育の実施 中核メンバーの妹川が中心であり、地域日本語教育の実績を持つ愛和外語学院と連携する
(3) 日本語教育を行う人材の研修 中核メンバーの深江が講師を行い、NPO支援を行うNPO法人メディアエイドと連携する
(4) 日本語教育のための教材作成 中核メンバーの深江、妹川、清水が中心であり、福岡日本語講師教育研究会と連携する

(3) 地域における連携体制

運営委員として文化庁主催の地域日本語教育コーディネーター研修を受講した日本語ボランティア教室の代表2名が参画する。また福岡市在住の外国人に対する施策課題の共有を福岡市国際部と行っている。福岡市国際部は本事業の運営委員に入っていないが、本事業とは別に地域日本語教育の現状について情報交換を行っている。日常場面の課題解決をめざす日本語教育の実施は、地域日本語教育の実績を持つ愛和外語学院と連携して行う。課題解決型の人材育成はNPO活動を支援するNPO法人メディアエイドと連携する。カリキュラム案の具体的な手引きとなる教材作成は、日本語ボランティア講師の勉強会を行っている福岡日本語講師教育研究会と連携する。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称：生活者としての外国人のための日本語教室】									
目的・目標	日常場面の課題に基づいた楽しい教室活動を外国人の集住地区で実施し、その実践を日本語ボランティア講師に公開することを通し、参加する外国人の日本語能力を伸ばしながら日本語ボランティア講師のエンパワーメントを行う。								
対象	福岡市で生活する外国人								
取組の内容	福岡市東区は福岡市の中でも特に外国人が集住している地域である。日常場面の課題に基づいた教室活動を楽しみながら行える教室を福岡市東区に設置し、その全ての教室活動を日本語ボランティア講師が見学可能にする。外国人の参加者は全ての外国人を対象に募集するが、ムスリムは孤立している程度が高いため福岡モスクと連携して実施する。								
実施期間	平成28年 7 月 26 日～平成 28 年 11 月 4 日	曜日・時間帯	火曜日・金曜日(18:30～20:30)						
開催回数	全 30 時間 (1回2時間 × 30 回)		開催場所	愛和外語学院					
参加者	総数 23 人 (日本語学習者 18 人、指導者・支援者 5 人など)		使用した教材・リソース	自作教材					
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	7人			1人			2人		
	エジプト(6人)、パキスタン(1人)、モロッコ(1人)								
カリキュラム案活用	教室活動を考えるにあたり、参加した日本語学習者が日常生活でどのようなことができ、どのようなことに困っているかを自分でチェックできるようにセルフチェックシートを英語・中国語・韓国語で作成した。その際、カリキュラム案の生活上の行為の事例を参考にした。								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成28年7月26日 (火) 18:30～20:30	2	愛和外語学院	18	オリエンテーション プレースメントテスト	インタビューを基に参加する外国人の現状と日本語能力を把握	妹川幸代 清水優 小栗鶴 田上菜穂 李紅蘭		
2	平成28年7月29日 (金) 18:30～20:30	2	愛和外語学院	15	自己紹介 花火大会 買い物	名前、国、来日した日、仕事、家族の人数を言うことができる。コンビニで芝生席のチケットを買い、花火大会に行くことができる。スーパーのチラシから作りたい料理に合わせ食材を探し、買うことができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭		
3	平成28年8月2日(火) 18:30～20:30	2	愛和外語学院	17	自己紹介 花火大会 買い物	名前、国、来日した日、仕事、家族の人数を言うことができる。コンビニで芝生席のチケットを買い、花火大会に行くことができる。スーパーのチラシから作りたい料理に合わせ食材を探し、買うことができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭		
4	平成28年8月5日(金) 18:30～20:30	2	愛和外語学院	17	毎日の生活 公共交通機関 料理	毎日、何時に何をするかを言うことができる。公共交通機関を利用して、行きたいイベントに行くことができる。料理の作り方を聞いたり、作り方を説明できる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴		
5	平成28年8月9日(火) 18:30～20:30	2	愛和外語学院	17	毎日の生活 公共交通機関 料理	毎日、何時に何をするかを言うことができる。公共交通機関を利用して、行きたいイベントに行くことができる。料理の作り方を聞いたり、作り方を説明できる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴		
6	平成28年8月12日 (金) 18:30～20:30	2	愛和外語学院	15	好きなこと 買い物(ケーキ) 招待	自分の好きなこと、好きじゃないことを言うことができる。プレゼントしたいケーキや食べたいケーキを表現でき、予約することができる。メールで誘われた時に簡単にやりとりすることができる。日本人の家に行った時のマナーを知りやりとりができる。	妹川幸代 清水優 田上菜穂		
7	平成28年8月16日 (火) 18:30～20:30	2	愛和外語学院	11	好きなこと 買い物(ケーキ) 招待	自分の好きなこと、好きじゃないことを言うことができる。プレゼントしたいケーキや食べたいケーキを表現でき、予約することができる。メールで誘われた時に簡単にやりとりすることができる。日本人の家に行った時のマナーを知りやりとりができる。	妹川幸代 清水優 田上菜穂		
8	平成28年8月19日 (金) 18:30～20:30	2	愛和外語学院	12	友達を誘う ディズニーランド 買い物(ケーキ)	好きなことが共通する人をそのことに誘うことができる。ショーの時間を尋ねたり、迷子になった子どもの服装を表現でき、探すことができる。プレゼントしたいケーキや食べたいケーキを表現でき、予約することができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭		

9	平成28年8月23日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	15	友達を誘う ディズニーランド 買い物(ケーキ)	好きなことが共通する人をそのことに誘うことができる。ショーの時間を尋ねたり、迷子になった子どもの服装を表現でき、探すことができる。プレゼントしたいケーキや食べたいケーキを表現でき、予約することができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭	
10	平成28年8月26日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	12	レストラン 病気 子どもの病気	メニューを見て食べたい物を注文できる。病院で受け付けをして病気の症状を伝えることができる。薬局で薬の説明を聞くことができる。子どもが病気で学校を休む時に連絡することができる。遊園地の救護室でやりとりを行うことができる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴	
11	平成28年8月30日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	12	レストラン 病気 子どもの病気	メニューを見て食べたい物を注文できる。病院で受け付けをして病気の症状を伝えることができる。薬局で薬の説明を聞くことができる。子どもが病気で学校を休む時に連絡することができる。遊園地の救護室でやりとりを行うことができる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴	
12	平成28年9月2日(金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	12	買い物(洋服) レストラン 区役所	売り場を尋ねられる。試着の許可を得て、自分にちょうどいいサイズの服を選ぶことができる。メニューを見て注文することができる。注文と違うものがきたり汚れていたりしたら取り替えてもらうことができる。区役所の総合案内で用件を伝えることができ、必要な届け出や手続きを行うことができる。	妹川幸代 清水優 田上菜穂	
13	平成28年9月6日(火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	13	買い物(洋服) レストラン 区役所	売り場を尋ねられる。試着の許可を得て、自分にちょうどいいサイズの服を選ぶことができる。メニューを見て注文することができる。注文と違うものがきたり汚れていたりしたら取り替えてもらうことができる。区役所の総合案内で用件を伝えることができ、必要な届け出や手続きを行うことができる。	妹川幸代 清水優 田上菜穂	
14	平成28年9月9日(金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	11	買い物(お祭り) 友達を誘う 子どもの習いごと	放生会に行った時、屋台で自分の食べたい物を買うことができる。相手の好きなこと趣味を尋ね、それが共通する人を誘うことができる。子どもの習いごとについて今の状況を伝えることができ、させたい習い事について知人や教室に尋ねることができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭	
15	平成28年9月13日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	12	買い物(お祭り) 友達を誘う 子どもの習いごと	放生会に行った時、屋台で自分の食べたい物を買うことができる。相手の好きなこと趣味を尋ね、それが共通する人を誘うことができる。子どもの習いごとについて今の状況を伝えることができ、させたい習い事について知人や教室に尋ねることができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭	
16	平成28年9月16日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	11	病気 これからの私 救急	病院に行き自分の病気の症状を伝えることができる。自分の今と5年後、10年後、30年後の自分について伝えることができる。病院で受け付けをして病気の症状を伝えることができる。子どもが急病の際、救急車を呼ぶことができる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴	
17	平成28年9月20日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	13	病気 これからの私 救急	病院に行き自分の病気の症状を伝えることができる。自分の今と5年後、10年後、30年後の自分について伝えることができる。病院で受け付けをして病気の症状を伝えることができる。子どもが急病の際、救急車を呼ぶことができる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴	
18	平成28年9月23日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	10	日本人の家で食事 会いたい人 公共交通機関	料理を食べる時に、その料理について尋ねることができる。ムスリムの人には食べられない料理を伝えることができる。今、自分が一番会いたい人について、どうしてその人に会いたいのかなど詳しく伝えることができる。遠方に旅行に行きたい時、公共交通機関を使って行くことができる。新幹線の切符を買うことができる。	妹川幸代 清水優 田上菜穂	
19	平成28年9月27日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	11	日本人の家で食事 会いたい人 公共交通機関	料理を食べる時に、その料理について尋ねることができる。ムスリムの人には食べられない料理を伝えることができる。今、自分が一番会いたい人について、どうしてその人に会いたいのかなど詳しく伝えることができる。遠方に旅行に行きたい時、公共交通機関を使って行くことができる。新幹線の切符を買うことができる。	妹川幸代 清水優 田上菜穂	

20	平成28年9月30日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	12	道案内 家族の紹介 ファッション	最寄りの駅やバス停から自分の家までの道を説明できる。自分の家族について、その特徴を動物にたとえたり、花にたとえたりしながら伝えることができる。自分に似合う服装や好きな服装、今日着ている服装について伝えることができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭	
21	平成28年10月4日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	11	道案内 家族の紹介 ファッション	最寄りの駅やバス停から自分の家までの道を説明できる。自分の家族について、その特徴を動物にたとえたり、花にたとえたりしながら伝えることができる。自分に似合う服装や好きな服装、今日着ている服装について伝えることができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭	
22	平成28年10月7日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	14	自分の家 仕事 家族の紹介	自分の住んでいる家の好きなところ嫌いなど言うことができる。将来住みたい家について言うことができる。自分にとっての仕事の意義を伝えることができる。自分の家族について「子育てで大変なことは？」など詳しく伝えることができる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴	
23	平成28年10月11日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	12	自分の家 仕事 家族の紹介	自分の住んでいる家の好きなところ嫌いなど言うことができる。将来住みたい家について言うことができる。自分にとっての仕事の意義を伝えることができる。自分の家族について「子育てで大変なことは？」など詳しく伝えることができる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴	
24	平成28年10月14日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	13	家族の紹介 床屋 化粧品	写真を見ながら自分の家族について、特徴や年齢を言うことができる。国の床屋と日本の床屋の違いを表現でき、床屋で自分のしたい髪形を伝えることができる。肌の悩みを伝え自分に合った化粧品を買うことができる。	妹川幸代 清水優 田上菜穂	
25	平成28年10月18日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	12	家族の紹介 床屋 化粧品	写真を見ながら自分の家族について、特徴や年齢を言うことができる。国の床屋と日本の床屋の違いを表現でき、床屋で自分のしたい髪形を伝えることができる。肌の悩みを伝え自分に合った化粧品を買うことができる。	妹川幸代 清水優 田上菜穂	
26	平成28年10月21日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	11	郵便局 買い物(洋服) 歳時記	不在連絡票を受け取った時に電話して荷物を届けてもらうことができる。郵便局で荷物やはかぎを自分の国へ送ることができる。自分に似合う色や洋服を見つける。買い物に行つてすそ上げなどをお願いすることができる。日本の季節の行事を理解し、自分の国の大切な行事について伝えることができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭	
27	平成28年10月25日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	11	郵便局 買い物(洋服) 歳時記	不在連絡票を受け取った時に電話して荷物を届けてもらうことができる。郵便局で荷物やはかぎを自分の国へ送ることができる。自分に似合う色や洋服を見つける。買い物に行つてすそ上げなどをお願いすることができる。日本の季節の行事を理解し、自分の国の大切な行事について伝えることができる。	妹川幸代 清水優 李紅蘭	
28	平成28年10月28日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	10	コンビニ 歳時記 レストラン(回転寿司)	コンビニをどのように利用するかを言うことができ、より利用できるようになる。自分の国の行事や祝日について伝えることができる。回転ずしのお店を予約できる。わさび抜き、お持ち帰りなどのお願いをすることができる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴	
29	平成28年11月1日 (火) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	12	コンビニ 歳時記 レストラン(回転寿司)	コンビニをどのように利用するかを言うことができ、より利用できるようになる。自分の国の行事や祝日について伝えることができる。回転ずしのお店を予約できる。わさび抜き、お持ち帰りなどのお願いをすることができる。	妹川幸代 清水優 小栗鶴	
30	平成28年11月4日 (金) 18:30~20:30	2	愛和外語学院	9	修了式	外国人参加者一人ひとりがスピーチを行い、修了証を渡す。	妹川幸代 清水優 小栗鶴 田上菜穂 李紅蘭	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第6回 平成28年8月12日】日本人の家に招待される

- ①日本の行事、地域のまつりに参加したことがあるか、日本人の家にいったことがあるかを話す。
- ②家で誕生日パーティをしますかという話をする。
- ③日本人の友達から誕生日パーティのお誘いを受けたとき、どんな会話をすればいいか学習者全員で考えながら、会話を作る。
- ④教材を使いメールで誕生日パーティのお誘いがきたあとの返信をシートに書き込んでいく。
- ⑤「日本人の家に着いて→パーティをして→帰る」までの中で、家にあがるとき、プレゼントを渡すとき、トイレに行きたいときなどの場面をイラストで提示し、それぞれに適した表現を使って話す。



○取組事例②

【第20回 平成28年9月30日】

- ①昨日どこに行ったか話す。
- ②まちの中にあるお店、公園、建物ものなどについて写真をみせながら確認する。いつも行くところやときどき行くところなどを話す。
- ③よく行くところがどこにあるのかを言いながら、信号、右・左、曲がるなどの言葉を確認する
- ④教材1の仕掛けを使いながら、道案内を聞き、今いる場所から目的地にたどりつけるようにする。
- ⑤教材2の仕掛けを使いお店、公園、建物のイラストを白紙に貼り付け、自分の家の周辺地図をつくる。
- ⑥「友達が家に遊びに来るので電話で道案内する」という場面を設定し、最寄りの駅やバス停から友達を自分の家まで電話で案内する。



(2) 目標の達成状況・成果

教室に参加した日本語学習者へのアンケートから次の3点が分かる(参加者18名、アンケート回答者9名)。

- ①生活場面に基づいた教室活動に回答した全員が満足している
- ②日本語学習への意識は回答した全員が高まった
- ③日本語が上手になったと回答した全員が感じている

以上の3点から、今回の教室設置を通して生活場面に基づいた教室活動は、日本語学習者にとって価値あるものであることが分かった。このことは、生活場面に基づいた教室活動が行われていない福岡市及びその近郊地域にとって、生活場面に基づいた教室活動を普及する第一歩としての成果である。

(3) 今後の改善点について

取組の内容と実施体制に分けて記す。

①取組の内容

今回は、教室活動内にて、実際の場面での行為をうながすきっかけをつくることに主眼が置かれた。ただ教室内の活動のみでは、効果的に日本語学習者を実際の行為につなげることができなかった。したがって次年度は自宅学習用の教材作成が必要である。

②実施体制

今回は、教室設置の期間が3か月であり短いという意見が日本語学習者から多く寄せられた。確かに3か月では日本語学習の効果が分かりづかった。したがって次年度は6か月間、教室を設置する。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称:生活者としての外国人のための教室活動のつくり方】

目的・目標	日本語ボランティア講師がNPOの理解と教室活動の理解を共に深めることで、カリキュラム案が基底とする社会課題の解決を試みる人材を育成し、外国人が参加したくなる教室活動づくりが行えるような支援を行う。								
対象	日本語ボランティア、日本語教育を勉強している人、日本語教師								
取組の内容	日常生活の場面に基づいた教室活動をどのようにデザインするかについて、講義形式とワークショップ形式での研修を行った。研修内容は、日本語教室の設置において行った教室活動の成果に基づいた実践的なものである。また全10回のうち2回は、ボランティアとボランティア教室の運営についての講座を行った。								
実施期間	平成28年10月22日～平成29年3月11日			曜日・時間帯		土曜日(13:00～16:00)			
開催回数	全10時間(1回3時間×10回)			開催場所		博多バスターミナルビル			
参加者	総数 47人 (日本語ボランティア・日本語ボランティア希望者 42人、指導者・支援者 5人)			使用した教材・リソース		自作教材			
出身・国別内訳(人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	3人								
カリキュラム案活用	「指導力評価について」(pp.22-39)のPDCAサイクルを活用する。研修の中で社会問題の解決をめざすボランティアはどうかやったら行えるかを考える講座を設けた。社会問題の解決をめざすボランティア活動にはPDCAサイクルの活用が不可欠である。したがって講座内で参加者がPDCAサイクルそのものについて理解を深められるようにした。								

養成・研修の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成28年10月22日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	19	教室活動におけるコミュニケーション能力	教室活動の基礎となる日本語教師のコミュニケーション能力について、実際の記録を基に考えた。	深江新太郎	妹川幸代 清水優 米倉宏治
2	平成28年11月12日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	18	日常場面に基づいた教室活動の目標と評価	カリキュラム案が提唱する生活場面中心の教室活動をなぜ行うのか、どのように行うのかについて考えた。	深江新太郎	妹川幸代 清水優 米倉宏治
3	平成28年11月26日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	20	教室活動を楽しむする仕掛け	生活場面中心の教室活動を楽しむ行うためにはどうすれば良いかについて、実際の教材を基に考えた。	深江新太郎	妹川幸代 清水優 米倉宏治
4	平成28年12月10日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	15	文法を考える力と伝える技術	生活場面中心の教室活動において、文法をどのように教えるかについて、実例を基に考えた。	深江新太郎	妹川幸代 清水優 米倉宏治
5	平成28年12月24日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	14	ボランティア活動の本質	ボランティアをなぜするのか、どのように行うかについて、グループでの意見交換を中心に考えた。	森重裕喬	妹川幸代 清水優 米倉宏治
6	平成29年1月14日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	27	日常場面に基づいた教室活動の構成をつくる	自分自身の教室活動について振り返り、それを生活場面中心の教室活動につなげるワークショップを行った。	深江新太郎	妹川幸代 清水優 米倉宏治
7	平成29年1月28日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	21	日常の場面で交わされる会話をつくる	具体的な生活場面を選び、そこで交わされる会話例を作成し、学習項目を見つけたワークショップを行った。	深江新太郎	妹川幸代 清水優 米倉宏治
8	平成29年2月11日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	19	教室活動を楽しむする仕掛けをつくる	日本語学習者が自分のことを楽しく話せ、実際の生活上の行為につなげる仕掛けをつくるワークショップを行った。	深江新太郎	妹川幸代 清水優 米倉宏治
9	平成29年2月25日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	20	自分なりの教案をつくる	第6回～第8回を振り返りながら、生活場面中心の教室活動を自分なりにどう展開するかについてワークショップを行った。	深江新太郎	妹川幸代 清水優 米倉宏治
10	平成29年3月11日(土) 13:00～16:00	2	博多バスターミナル	15	人が集まってくるボランティア教室をつくる	ボランティア教室における自分の役割を再考し、どのような関わり方をするかについて考えるワークショップを行った。	森重裕喬	妹川幸代 清水優 米倉宏治

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第8回 平成29年2月11日】教室活動を楽しくする仕掛けをつくる

具体的な生活場面にそくして、日本語学習者が自分の経験や思いを積極的に話し、実際の行為につなげるための教室活動について、ワークショップを通して話し合った。まず講師は教室設置において実際に使用した教材を、「病院に行く」という生活場面において提示した。次に、参加者がグループで「病院に行く」という生活場面において、教室活動を楽しめる仕掛けについて話し合い発表を行った。その後、これまでの講座の中で参加者が考えた生活場面「ママ共に学級通信の内容を教えてください」を基に、歳時記・イベントをテーマにした教室活動を楽しめる仕掛けについて話し合った。ただ話し合いの中で、参加者から生活場面に基づいた流れについては分かるが、教室活動の楽しさとは何か？という問いかけが改めて提示された。したがって第9回に全体を振り返りながら、教室活動の楽しさについてまとめることを共有した。



○取組事例②

【第9回 平成29年2月25日】自分なりの教案をつくる

まず教室活動の楽しさを考える筋道を整理した。「生活者としての外国人」に対する日本語教育の場合、日本語教室の活動の目標は、日本語学習者の日常生活で実現したい思いをかたちにした後押しをすることである。したがって日本語教室の活動の中心は、日本語学習者が自分自身の日常の思いをことばにすることである。教室活動の工夫は、日本語学習者が「自分なりに話せること」「日本語にしやすいこと」である。この点について共有した後、講師は教室設置で実際に行った例を3つ(「コンビニを利用する」「好きなファッションを紹介する」「スーパーで買い物をする」)紹介した。続いて「美容室に行く」という生活場面で、参加者は教室活動の流れ、そこで必要となる会話場面と会話内容、日本語学習者が自分のことを話したくなる仕掛けについて話し合い発表を行い、自分なりに「生活者としての外国人」のための日本語教育を行うことへの理解を深めた。



(2) 目標の達成状況・成果

アンケート結果から次のことが分かる(参加者42名、回答者35名)。

・参加したほぼすべての人が「生活者としての外国人」に対する日本語教育に理解を深めた

「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解が深まったか、という問いかけに対し29名が「深まった」と答え、5名が「まあまあ深まった」と答えた(「分からない」が1名)。生活場面に基づいた教室活動が行われていない福岡市及びその近郊地域において、カリキュラム案の理解が一步進んだことを示している。また「生活者としての外国人」のための日本語教育に関わってみたいかという問いかけにも、回答した8名のうち「関わってみたいと思う」が7名、「できれば関わってみたいと思う」が1名であった。日本語ボランティア未経験者に対する啓発という点でも成果があったと言える。

(3) 今後の改善点について

本年度は日本語ボランティア個人での参加を募って研修を行った。個人一人ひとりの理解という点では(2)の通り成果があった。ただ、実際にそれぞれの教室に戻り実践を行うとなると、それぞれの教室が持つ方針等により、「生活者としての外国人」のための日本語教育が十分に行えないという現状がある。したがって次年度は、教室単位での参加で研修を行う。つまりそれぞれの教室が自分たちの特徴を生かしながら、「生活者としての外国人」のための日本語教育を行えるような研修を行う。具体的にはまずモデルとなる先駆的事例を一つの日本語ボランティア教室と協働してつくる。次にその成果を全体に伝えそこに共鳴する日本語ボランティア教室が「生活者としての外国人」のための日本語教室が行えるようなワークショップを行う。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

福岡市で活動する日本語ボランティア講師のエンパワメントを行う。具体的には、カリキュラム案を活用し(1)日常場面の課題に基づいた教室を設置し
公開(2)課題解決能力を育成する研修を実施(3)カリキュラム案の教案集を作成する。この(1)から(3)を通して「生活者としての外国人」が参加したくなる

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

検証方法は、日本語教室の参加者と人材育成研修の参加者に対するアンケートである。教材作成の成果はこの2つのアンケート結果より検証できる。なぜなら作成した教材は、日本語教室の設置において実際に使用されたものであり、人材育成研修を通して日本語ボランティアへ説明を行っているからである。アンケート結果より、福岡市及びその近郊地域において、生活場面に基ついた教室活動を普及する第1歩を築けたことが分かる。教室設置のアンケートにおいては、外国人参加者が生活場面に基ついた教室活動について高い満足度を示していることが分かった。人材育成研修のアンケートにおいては、日本語ボランティアが生活場面に基ついた教室活動に理解を深めていることが分かった。作成教材も、外国人参加者と日本語ボランティアから教室活動において楽しく自分のことを話すことができる点で評価を受けた。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

標準的なカリキュラム案が提唱する生活場面に基ついた教室活動を行った。カリキュラム案を活用するにあたりまず大切にすることは、「生活者としての外国人」というカリキュラム案の理念である。在留資格による区分をせず全ての外国人にあてはまる「生活」に着目することが、カリキュラム案の持つ根本的な価値だと考えるからである。カリキュラム案の使用に際して気をつけたことは、特に人材育成研修において、そのエッセンスをきちんと理解した上で伝えたことである。カリキュラム案そのものの説明になると日本語ボランティアにとり難解になるためである。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

・事業の周知:福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際交流財団、九州大学留学生センター、福岡マシジドの協力により広範囲の周知が行えた。
・教室設置:愛和外語学院の日本語教師専門家と連携することで質の高い教室活動が行えた。
・人材育成:NPO法人ミディエイトと連携することで、ボランティアの本質や日本語ボランティア教室づくりについての講座が行えた。
・教材作成:福岡日本語講師教育研究会の協力を得ることで、日本語ボランティアの教室活動に必要な楽しく話しができる教材作成が行えた。

(5) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・福岡市の後援を受けることで、福岡県国際交流センターや福岡よかトピア財団など行政機関の協力がスムーズに得られた。
・北九州市の国際交流協会の協力を得て、北九州市内の日本語ボランティア教室にも周知が行えた。
・日本語教室の設置については、福岡マシジドの協力を得ることで、孤立しがちなムスリムへの周知が行えた。
・今後は福岡市だけでなく、北九州市の国際交流協会と連携し、北九州市において日本語ボランティア研修を行いたい。

(6) 改善点、今後の課題について

教室設置、人材育成、教材作成のそれぞれのついで今後の課題を記す。
教室設置:設置期間を長くすることである。今回は3か月であったため、外国人参加者から期間を長くして欲しいという要望が寄せられた。また周知において、外国人児童が多数在籍する小学校を通して保護者へ教室の案内が伝わるようにする。
人材育成:教室単位で生活場面に基ついた教室活動が行えるように教室単位で参加できるワークショップを開催する。今回は個人での参加で一人ひとりへの理解は深まったため、それを教室として実施できるようにつなげる。
教材作成:教室活動が終わった後、実際の日常場面での新たな行為を促せるような自律学習用教材を作成する。

(7) その他参考資料

教室設置・人材育成参加者による自由記述のアンケート結果

教室設置 参加者によるアンケート結果
自由記述

(1) 本講座を受けて、これまではやりたいと思っていたけれどできなかったことで、できるよなつたことがありますか。

①今、通りやお店、スーパーやレストランで日本人が話していることが理解できる。
②病院や銀行、郵便局や電車、バス停で起きることが理解できる。
③アルバイトをしている時、前より少し自信を持って日本語を話すことができる。
④日本語の会話に慣れ、幼稚園で必要なことが行え、お店で材料について尋ねることができる。
⑤スーパーマーケットや病院、学校での日常生活の中で日本語がより話せ理解できるようになった。
⑥日常生活の中で日本人と話せるようになった。
⑦欠席が多く講座期間が短かつたため、学べるものが少なかつた。
⑧コミュニケーション
⑨日本の食べ物
⑩日本についてのさらなる理解
⑪お金を数えること
⑫こどものダンス教室に申し込みに行ったが、年齢が足りなくてできなかった。
⑬こどもの習い事の教室について聞くことができる。

(2) 本講座を受けて、日常生活に必要なことでこれまでではできなかったけれど、できるようになったことがありますか。

- ①銀行や病院、郵便局の中で起きることが十分ではないが日常生活を行うに必要な程度に理解でき、話せるようになっている
- ②ドラッグストアとスーパーマーケットで買い物する時に前より自信が持てる。
- ③区役所における重要な手続きについて理解した。また医者に自分の健康上の問題を伝えられる。
- ④特に病院における日本語が理解でき健康に関することばを使うことができる。
- ⑤銀行員やお店の話が理解でき、自分の要求を伝えられるようになった。
- ⑥欠席が多かったため、わずかなことしか学べなかった。
- ⑦郵便局
- ⑧交通機関
- ⑨買い物